

令和 6 年度の主な防災事業について

1 防災士養成講座

- 〈日 程〉 令和 6 年 7 月 20 日（土）、21 日（日）、8 月 3 日（土）
- 〈会 場〉 商工センター
- 〈参加者〉 76 名
- 〈内 容〉 防災士養成講座 9 時間、救急救命講習 3 時間、資格取得試験

2 防災士研修

- 〈日 程〉 令和 7 年 3 月 1 日（土）
- 〈会 場〉 総合体育館研修室
- 〈参加者〉 200 名予定（防災士及び自主防災組織リーダー）
- 〈内 容〉 災害対応カードゲーム「クロスロード」

3 自主防災組織資機材購入費補助事業

自主防災組織の育成・強化を図り、地域防災力の向上に資することを目的に、自主防災組織の防災資機材購入費用の一部を補助する。

令和 6 年度：17 団体

4 防災体制整備事業

指定避難所に設置した防災備蓄倉庫内の備蓄食料の更新を行う。

令和 6 年度：食料、飲料水

5 災害情報伝達強化事業

防災行政無線の操作卓の更新及び外部連携用のサーバーを設置し、防災行政無線及び J アラートの発報内容を SNS、ホームページ、安全・安心情報メールに直ちに発信できる体制を構築する。（令和 5 年度・6 年度継続事業）

また、災害時に迅速かつ確実に情報を伝達するため、防災行政無線に加え、防災無線音声応答サービスや緊急情報等電話配信サービスを運用することで、情報伝達の多様化を図る。

6 行田市防災フェア

- 〈日 程〉 令和 6 年 11 月 9 日（土）
- 〈会 場〉 総合体育館入口スペース、サブアリーナ他
- 〈参加者〉 約 2,000 名
- 〈内 容〉 （防災士対象）陸上自衛隊による応急手当訓練、備蓄食の炊出し訓練
（一般対象）降雨体験、地震体験、災害食試食、各種展示 等

7 災害用消防井戸

能登半島地震の断水状況を受け、市内にある消防井戸を活用し、市民に生活用水を供給する体制を構築する。

〈供給場所〉 消防井戸の出水量、市民が集まりやすい場所等を考慮し、あらかじめ 96 箇所の候補地を選定

〈供給方法〉 災害時には、この候補地の中から供給可能な場所を選定し、消防団により行政区ごとに供給を行う。

8 行田市水防演習

〈日 程〉 令和 6 年 6 月 22 日 (土)

〈会 場〉 旧須加小学校裏 利根川堤防

〈参加者〉 149 名 (消防団員等)

〈内 容〉 水防工法訓練

9 まちづくり出前講座等

防災に関する出前講座の実施や地域における防災訓練に職員が参加し、市民の防災意識の高揚と知識の向上を図る。

令和 6 年度：38 団体 (今後の予定含む)

10 その他の事業

- ・ 災害対応向上研修会
- ・ 避難所運営対応力向上研修会
- ・ 各種訓練、災害時応援協定の締結など